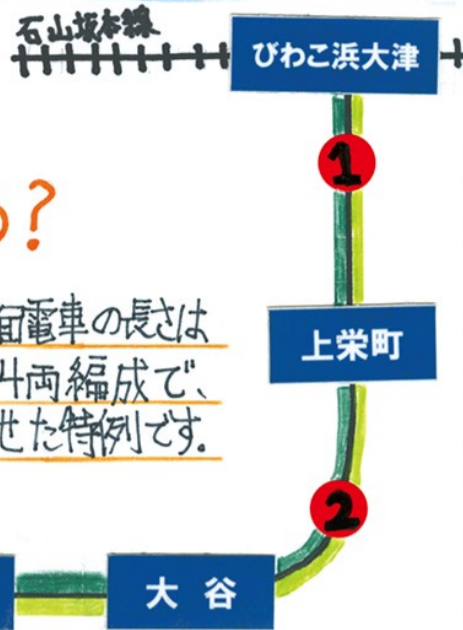




ポイント1 電車が道路を走る?

びわ湖浜大津～上栄町までは路面電車として走ります。日本の路面電車の長さは30m以下と決められています。しかし京津線800系車両は4両編成で、全長は66mです。これは乗り入れする地下鉄の輸送力にあわせた特例です。



みなぎさんは「劇場路線」といわれる京津線を、知っていませんか？京津線は3つの顔をまわっています。それは路面電車、登山電車、地下鉄として走るのです。そんな京津線のおもしろいことやひみつをこの新聞で紹介していきます。

京阪京津線 ふしぎ新聞

ポイント2 まるで登山電車急カーブ!!

開業当時の新聞にも「恐いほどの曲線と急坂」と書かれたほどの難所があります。上栄町～大谷まではカーブや急勾配がつづくので電車はゆっくり走ります。しかし急カーブでは車輪とレールのすれる音はかなり大きくなります。それを軽減するためにスプリンクラーが役立っています。電車が来る前に、もくもくと水煙を上げるレールを見ることができます。



考察



大谷駅へ行ってみた

大谷駅のホームはなんと最高40%という急勾配。山岳鉄道を除き日本一です。ホームに設置された木製のベンチは左右で脚の長さが異なり、座席が垂平になるように工夫されています。

%(パーセント)とは

%の10分の1の値。鉄道では勾配を表します。1000m進んだ時に1m高くなると1%です。



勾配標

線路標識の1つで書かれている数字が勾配を表す。



実際に測って見た



脚の長さの差は7cm

例えば幅1000cmのベンチだと $100000 \div 180 = 555.55...$ なので、幅1000cmのベンチは幅180cmのベンチの約556倍の長さになる。つまり脚の長さは $7cm \times 556 = 3892cm$ 、1000mで38.92mの差となる。

38.92%

大谷駅の急勾配を証明した。

編集後記

大谷駅のベンチの両端に座ってみて、ベンチの脚のちがいがよく分かった。急勾配であることは知っていたが、実際に体感することができた。



こま犬は見た... 蝉丸を祀ったも登場する... にはひとつ変わったところ... があり居の目の前を... 京津線が横切る... ことです。

